

【2018 年度】

■国内学会：

- 1 澤広太：遅延フィードバックが脳血管障害例の座圧偏倚へ及ぼす影響－AB 法シングルケースシリーズによる検討－. 日本リハビリテーション医学会 55 回学術集会(福岡). 2018.6
- 2 星達也：皮膚筋炎によって舌骨上筋群の筋力低下・食道入口部開大不全を呈した症例に対して開口訓練・バルーン拡張法が有用だった一例. 第 19 回日本言語聴覚学会(富山). 2018.6
- 3 森園子：意思の改善により病前行っていた作業への動機づけに繋がった事例-回復期での人間作業モデルを用いた介入-. 第 52 回日本作業療法学会(名古屋). 2018.9
- 4 古田憲一郎：回復期病棟における脳卒中クライアントに対する生活行為の可能化に焦点を当てた事例-作業分析に基づくリリースング-. 第 52 回日本作業療法学会(名古屋). 2018.9
- 5 平松恭介：セルフアウェアネス獲得に向けて認知作業療法を用いた支援－くも膜下出血後に失語症を呈した症例が復職に至った一事例－. 第 52 回日本作業療法学会(名古屋). 2018.9
- 6 鈴木陸也：USN 症状を呈した CVA 患者に対し、ABA 法による前庭感覚トレーニングによって臨床症状が改善した一症例. 第 37 回東京都理学療法学会学術集会(東京). 2018.6
- 7 西村友花：経口摂取移行に難渋した Parkinson 病既往の誤嚥性肺炎後廃用症候群の 1 症例
The patient combined with Parkinson disease with disuse syndrome after aspiration pneumonia that was not able to convert oral ingestion on discharge.
第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(仙台). 2018.9
- 8 澤広太：回復期脳血管障害患者に対する坐骨下ウェッジでの麻痺側への体幹側方傾斜トレーニングが垂直認知及び座位バランスに及ぼす影響.
第 16 回日本神経理学療法学会学術大会(大阪). 2018.11
- 9 澤広太：遅延フィードバックが脳血管障害例の座圧中心および座位バランスへ及ぼす影響.
第 42 回日本高次脳機能障害学会学術総会(神戸). 2018.12
- 10 石神佳祐：半側空間無視症例における能動的なロッド調整課題が臨床所見を改善させた一症例.
第 42 回日本高次脳機能障害学会学術総会(神戸). 2018.12
- 11 高橋友樹：当院の訪問リハビリ利用者における早期終了者の傾向.
第 5 回日本地域理学療法学会学術大会(横浜). 2018.12

- 12 末永達也：当院実績指数除外患者における入院中の経過とその特徴。
回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜, 2019.2
- 13 伊藤和則：長下肢装具を作製した脳血管障害患者の機能予測値と退院時 FIM の比較
～FIM を用いた機能予後予測を用いて～。
回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜, 2019.2
- 14 島美里：入院時の運動 FIM・認知 FIM により低値群, 高値群のそれぞれにおいて層別化された
各群の比較。回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜, 2019.2
- 15 橋本純平：回復期リハビリテーションにおける肺炎後廃用症候群患者の歩行自立期間と影響する
因子について-入院時 FIM に着目した多変量解析による検討-。
回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜, 2019.2
- 16 藤平渉太：視床出血を呈した回復期脳卒中患者に歩行時の筋活動タイミングに対して IVES を
用い歩行動作の学習に寄与した一症例～AB 型シングルケースデザインを用いて～。
回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜, 2019.2
- 17 馬橋啓介：脳卒中片麻痺患者の上肢機能に対する IVES の効果～随意性高値群と随意性低値群の
退院時 STEF・MAL(AOU)変化量の比較～。
回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜, 2019.2
- 18 中司勇士：呼吸苦を伴う間質性肺疾患患者への MRF-28 を用いた介入－HRQOL の改善及び
今後の社会参加支援の重要性を示した事例－。
回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜, 2019.2
- 19 田井中美咲：経口摂取困難と判断され胃瘻造設を施行した脳室穿破合併の視床出血患者が、
3 食経口摂取に至った症例。回復期リハビリテーション病棟協会 第 33 回研究大会 in 舞浜, 2019.2
- 20 田中雅人：体幹の協調性障害で歩行能力が低下した症例に対し Posture Stability System Belt,長下肢
装具を用いた介入により歩行能力が改善した症例。
第 10 回 区東部・区東北部ブロック学術集会(東京), 2019.2
- 21 田村実子：右橋出血による運動失調に対して重錘負荷と 8 の字歩行を用いた介入－歩行能力が向上
した事例－。第 10 回 区東部・区東北部ブロック学術集会(東京), 2019.2
- 22 増田彩花：両側足関節にクローヌスを呈した症例～体幹機能向上による足関節の筋緊張改善が
歩行に与える影響～。第 10 回 区東部・区東北部ブロック学術集会(東京), 2019.2

- 23 齊藤ゆかり：座圧センサーとタイマーを利用した褥瘡ケアとスタッフ間連携の効果。
回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会 in 舞浜. 2019.2